

造血器腫瘍における BAFF 関連遺伝子の機能的解析を目的とした臨床研究

公開文書

2.0 版 2025 年 1 月 9 日

1. 研究の対象

NCC バイオバンクにおいて、2007 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに研究に参加した造血器腫瘍の方、若しくは「造血器腫瘍の臨床検体を用いた遺伝子プロファイリング・免疫応答の解明と臨床的意義に関する研究（研究課題番号：2017-511）」において、2018 年 6 月 25 日から 2024 年 3 月 31 日までに研究に参加し、検体・情報の二次利用に同意された方を対象としています。

2. 研究の目的・方法

BCMA のリガンドである BAFF には特に細胞性の造血器障害において病気の原因になっていることが知られています。BAFF 関連遺伝子及び関連する免疫シグナルを解明することで治療法の開発に寄与する可能性があります。

BAFF 関連遺伝子やその受容体における免疫への影響について解明することは、造血器腫瘍の発症・増悪の機序を明らかにするだけでなく、新規治療ターゲットの発見や既存治療法の改善につながることを期待されます。

本研究は、既存試料・情報を解析し関連遺伝子やその受容体における免疫を解明することで、造血器腫瘍の発症や増悪と BAFF との関連を明らかにすることを目的とします。

既に国立がん研究センター研究倫理委員会で承認を受けている、NCC バイオバンク、「造血器腫瘍の臨床検体を用いた遺伝子プロファイリング・免疫応答の解明と臨床的意義に関する研究」は、既に収集した検体を利用しますので検体を新たに採取することはありません。

この研究は東京大学大学院農学生命科学研究科との共同研究として実施されます。また、資料の解析は東京大学大学院農学生命科学研究科にて実施されます。

(研究のアウトライン)





NCC 統合解析

国立がん研究センター東病院の研究責任者は血液腫瘍科 湯田淳一郎です。研究期間は研究許可日から 2026 年 3 月 31 日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、研究に参加された患者さんの試料の他にも、NCC バイオバンクに保存されている造血器悪性腫瘍の診療後余剰試料、及び「造血器腫瘍の臨床検体を用いた遺伝子プロファイリング・免疫応答の解明と臨床的意義に関する研究」で規定された試料を用います。試料は、骨髄液・骨髄生検検体、腫瘍組織・リンパ節組織、末梢血等を用います。

情報は、性別・年齢等の患者背景因子、血液検査、血液生化学的検査等の臨床検査の情報、治療に関する情報等を用います。

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

対応表は、研究代表者が保管・管理します。

5. 研究組織

共同研究者

名称：東京大学大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻 応用免疫学

住所：〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 農学部 7 号館 A 棟 403 号室

公式ホームページ：<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/immune/>

研究責任者：後藤 康之

田上 奈海

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ご照会および研究への利用を拒否する場合の連絡先

<事務局>

湯田 淳一郎、後藤 文子
国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
電話番号：04-7133-1111
FAX : 04-7133-6606

<研究責任者>

湯田 淳一郎
国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
電話番号：04-7133-1111
FAX : 04-7133-6606

<研究機関の長>

中金 斉
国立がん研究センター 理事長